

基本目標1 人権が尊重されるまち すみだ

課題(1) 人権尊重・男女平等意識を高めます

- 施策の方向
- ① 固定的な性別役割分担意識の解消
 - ② 家庭・学校・地域における男女平等教育・学習の充実
 - ③ 人権意識の普及とメディアへの対応

項目名	現状	目標(平成30年度)
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に反対(「どちらかという反対」も含む)する区民の割合	55.8% (墨田区アンケート調査2012)	増加 (平成29年度)
しきたりや慣習などにおいて男女平等であると感じている区民の割合	12.5% (墨田区アンケート調査2012)	増加 (平成29年度)
男女共同参画の意識を高める「すずかけ大学」の男性受講者率	13.1%	20%

課題(2) 心とからだを尊重する社会づくりを進めます

- 施策の方向
- ① 配偶者等からの暴力の防止・早期発見・被害者支援(DV防止基本計画)
 - ② 性暴力、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などの根絶
 - ③ 生涯を通じた女性の健康支援

項目名	現状	目標(平成30年度)
DV防止に関する庁内連絡会議開催回数	年2回	年2回以上
デートDV*防止講座の回数	年1回	年1回以上
乳がん・子宮がん検診受診率	乳がん 24.3%	乳がん 50%
	子宮がん 26.5%	子宮がん 50%

*デートDV: 恋人同士など、親密な関係にある者の間の暴力のこと。

課題(3) 特別な配慮を必要とする人々を支援します

- 施策の方向
- ① ひとり親家庭への支援
 - ② 困難を抱えている若者等への支援

項目名	現状	目標(平成30年度)
母子福祉資金の貸付件数	72件	継続実施
就職活動支援セミナー開催回数	年16回	年16回以上

基本目標2 その人らしく働き、暮らせるまち すみだ

課題(1) 男女がいきいきと働けるよう支援します

- 施策の方向
- ① 就業における男女共同参画の推進
 - ② 女性の再就職・起業支援
 - ③ 中小企業・商工業における男女共同参画の推進

項目名	現状	目標(平成30年度)
職場で男女が平等であると回答する区民の割合	女性26.2% 男性32.4% (墨田区アンケート調査2012)	増加
女性の再就職支援のための講座開催回数	年1回	年1回以上
ワーク・ライフ・バランスセミナー開催回数	年1回	年1回以上

課題(2) 仕事と生活の調和をめざします

- 施策の方向
- ① ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)・ゆとりある家庭生活への支援
 - ② 男女で担う子育て環境づくり
 - ③ 高齢者・障害者の介護(介助)者への支援

項目名	現状	目標(平成30年度)
「ワーク・ライフ・バランス」の内容まで知っている区民の割合	16.4% (墨田区アンケート調査2012)	増加
パパのための出産準備クラス開催数	年12回	年12回以上
ハート・ライン21事業の推進	区社会福祉協議会への助成	継続実施

●女性のライフコースへの意識の変化(前回調査との比較)



前回の調査では、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はまた職業を持つ方がよい」とする「一時中断型」を支持する男女が半数を超えましたが、今回調査では男女ともに「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業をもつ方がよい」とする「継続就業型」が大きく増加しました。

基本目標3 男女共同参画の推進で 元気なまち すみだ

課題(1) 皆さんと区がともに考え、決める土台をつくります

- 施策の方向
- ① 意思決定過程への女性の参画促進
 - ② 区役所における女性登用の促進

項目名	現状	目標(平成30年度)
審議会・委員会の女性委員比率	24.5%	30%
女性委員がない審議会数	12	0
区職員の女性管理職比率	11.8%	15%

課題(2) 安心・安全でやさしいまちをつくります

- 施策の方向
- ① 地域づくり、環境保全活動における男女共同参画の推進
 - ② 防災・防犯における男女共同参画の推進

項目名	現状	目標(平成30年度)
防災会議における女性の委員数	2/50	現状以上
生活安全推進協議会の女性の委員数	0/28	1/28以上
すみだ環境共創区民会議の女性委員数	6/18	現状以上

課題(3) すみだを活性化し、豊かなまちにしていきます

- 施策の方向
- ① 産業振興での男女共同参画の推進
 - ② 多文化共生・国際交流の推進

項目名	現状	目標(平成30年度)
NT*配置数	区立小中全校	区立小中全校
国際理解教育の取組学校数	区立小中全校	区立小中全校
産業振興会議女性委員数	2/14	現状以上

*NT(エヌティー): Native Teacher 英語を母語とする英語指導者をいいます。

●ワーク・ライフ・バランスの希望と現実



男性の現実の生活では「仕事を優先」が46.1%と最も多く、「仕事、家庭生活、個人の生活すべて」は13.0%にとどまります。一方、希望では「仕事、家庭生活、個人の生活すべて」が37.0%と最大です。